

科学者委員会・男女共同参画分科会（第23期・第1回）議事要旨

- 1 日 時 平成27年3月23日（月）10:30～11:30
- 2 場 所 日本学術会議 第5-D会議室（5階）
- 3 出席者 井野瀬久美恵委員長、土井美和子副委員長、三成美保幹事、清水誠幹事、伊藤公雄委員、塩見美喜子委員、上林憲雄委員、久留島典子委員、神尾陽子委員、萩原一郎委員、松尾由賀利委員（計11名）

【配付資料】

- 資料1 男女共同参画分科会委員名簿
- 資料2 男女共同参画分科会委員の追加について
- 資料3 報告 学術における男女共同参画推進の加速に向けて
- 資料4 内閣府男女共同参画局長依頼「科学者コミュニティにおける政策・方針決定過程への女性の参画を拡大する方策の審議について」

4 議 題

(1) 役員の選出について

- ・委員長については、井野瀬委員、副委員長については、土井委員、幹事については、三成委員、清水委員に決定した。

(2) 委員の追加について

- ・江原連携会員、戸部連携会員の追加が承認された。

(3) 今後の運営について

- ・22期の活動は、昨年5月31日の学術フォーラム「男女共同参画は学問を変えるか」の開催や報告（資料3）のとりまとめの成果があった。また、昨年7月、学術会議の内部での通称使用に関する改善点の検討を会長への要望書として、提出した。
- ・一方、学術会議全体の予算的な厳しさから、分科会活動に係る経済的人的資源が不足し、調査を行うだけにとどまった。
- ・内閣府によると、今期は第4次男女共同参画基本計画が本年12月に閣議決定を予定しており、タイミングを見て、先般の男女共同参画局からの依頼（資料4）に対する回答を早期に行うことが急務となっている。ただ、これに関する議論が時間不足から前期の分科会ではこれまでほとんどなされていなかった。
- ・報告（資料3）、資料4の内容を基に、次回4月10日（金）に上記回答に関し、本格的な議論を開始することとする。
- ・最後に各委員から男女共同参画に関する現状報告があった。
（内閣府において女性活躍推進法の法案提出の動き等）

以上